

# 島根 教弘友の会 報

Vol.128

2024.12

発行兼  
編集

(公財)日本教育公務員弘済会島根支部・(株)島根教弘  
松江市殿町33 TEL(0852)24-1059・24-7750 FAX(0852)31-6089  
E-mail:simane@nikkyoko.or.jp HP:https://nikkyoko-shimane.jp

「台湾・九份の賑わいの中で」  
(島根教弘友の会「研修と親睦の旅」)



## 目次

- 巻頭言「高津川を愛してるかい？」……………1
- 友の会会員の広場「わたしの日常」……………2
- 島根教弘友の会「研修と親睦の旅」……………3、4
- 教弘保険K型・教弘フルガード……………5

# 高津川を愛してるかい？

友の会鹿足地区長  
河野 洋司



人口5,600人弱の鹿足郡吉賀町は山口県北側の凹部分に挟まった位置にあります。私は、県内最高峰の安蔵寺山や水質日本一に8回選ばれた高津川上流域を抱えるこの地で生まれ、中学校理科教員としても長く勤務してきました。令和3年度末の定年退職後は、同時期に結成された川遊び団体「タカラバ（#高津川を愛してる会）」の代表を務めています。全国の一級河川で唯一、本流にダムのない高津川には多様な生き物が棲み、緩やかな流れは気軽に遊べる河原を形成しています。魚にも人にも優しい高津川で豊かな時間を過ごした記憶が、ふるさとへの愛着や環境保全の行動力を高めてくれると考えてタカラバは結成されました。

タカラバ（以下、私たち）は、季節ごとの川遊びや鮎・ツガニ（モクズガニ）など川の恵みを堪能できるイベントを手がけています。結成1年目には私と事務局が仁淀ブルーで有名な高知県仁淀川を視察し、川底が見えるクリアカヤックの存在を知りました。カヤック購入費用を捻出したかった二人は、ダメ元で「萩・石見空港利用促進プランコンテスト」に挑戦しました。ところが、これまでなかった高津川体験コンセプトが受けたのか私のプレゼンがよかったのか、何と優秀賞（第2席）を獲得して無事カヤックを購入することができたのです。おそらく島根県初のクリアカヤックは、想定どおり私たちが主催する川遊びで大活躍しています【写真①】。



【写真①】「クリアカヤック」

私たちは、高津川の自然・生き物・歴史・文化を学べる「高津川検定」づくりにも取り組んでいます。益田管内公民館に高津川情報を募るチラシも配布していますが、今のところ手応えゼロです（涙）。エピソードをお持ちの方はぜひご連絡ください。

また、私たちは「川に学ぶ体験活動全国大会」に

も毎年参加しています。今年は私と事務局が長野県に一泊二日で参加しました。全体会では各地の実践から知見を得て、交流会では清酒「源流高津川」を持参して親睦を深め、翌日のエクスカージョン【注：目的をもって団体で行う小旅行】では長野県を南北に流れる犀川でラフティングに初挑戦しました。川崖のあちらこちらに見える褶曲地層は圧巻で、確かにフォッサマグナ（中央構造線）の中にいるんだと実感できました。

さて、皆さんは端材を燃料に煮炊きができるロケットストーブを知っていますか？ 私は10年前に藻谷浩介さん著「里山資本主義」で存在を知って以来、持ち運び型の自作を続け、現在は15台ほど保有しています。地面を汚さない・小学校低学年でも扱える・燃えかすが残らないロケットストーブは、私たちの川遊びでの鮎飯【写真②】や揚げ物づくり・小学生キャンプ・学童保育イベントなどで活躍しています。私は密かに、防災視点も踏まえた「一家に一台ロケットストーブ」を妄想しながら活動しています。



【写真②】「ロケットストーブ」

教員生活最終年に社会教育士の資格を取得した私は、この2年間地域の公民館長として地域と学校の活動を支援してきました。また、町が教育の柱と位置づける吉賀町サクラマスプロジェクト推進協議会長・主任児童委員・町社会福祉協議会理事などを務めながら、学校と地域、各種団体どうしの協働を深化することが持続可能なまちづくりのツボになるという思いを一層強くしてきました。

そんな中、この11月から吉賀町教育長に就くこととなり、今後はこのまちだからできる学びや生きがい創出に向けて学校・地域の取組を後方から全力で支援したいと考えています。



## わたしの日常

友の会安来地区

山崎道弘

この夏の暑さは、経験したことのないものでした。県内どこでも同様ではなかったでしょうか。

多くの方がそうであるように、両親の農業経営で育ててもらいましたので、少しばかりの田んぼと畑がありますので、退職後はその世話をしなければなりません。私のところでは、イチゴのハウス栽培が主な仕事です。現職の時には、妻が一人で1棟のハウスで作っていましたが、退職後しばらくして、もう1棟建てました。



植付の済んだハウス内

以前からのものは、土耕と言って畑の中に畝を作り、そこでの栽培ですが、新しいものは身体への負担軽減を考えて、立ったまま作業ができる高設栽培のものです。とは言え、私は、妻の指導を受けながら未だに見習い期間です。



植付前の高設施設

年末から収穫をはじめ、3月半ばからどんどん収穫量が増えてくるので、毎日が追いかけるように過ぎていきます。5月いっぱい共同出荷するのですが、1歳違いの老夫婦となった今年は、5月中旬でギブアップしました。

収穫、出荷作業と並行して、妻は、春先から次の作付けのために苗を育て始めます。夏の間中、その世話をし、9月には、植付けをします。



地域内のイチゴハウス

これが1年間の大まかなサイクルですが、その間、雪が積もれば除雪、数年ごとのビニールの張り替え、台風などの大風でハウスが壊れるなどの事故もあります。



積雪時の雪かき

50年前くらいからイチゴのハウス栽培に取り組んでいる地域ですが、世代交代と共に徐々に栽培する方が減ってきています。我が家でも両親と妻がしていたころに比べれば半分くらいの栽培面積です。10年前ごろから、新規就農の方たちに少しずつ加わってもらい、地域全体としてはイチゴの産地として維持できているようです。



収穫期

ハウスの中でトラクタ耕起で、何度もパイプを壊しました。今年は水田でトラクタをクラッシュさせてなんと、クレーン車のお世話になりました。そんな時に力になってくれるのが近所の方々ですが、同年配か、先輩です。これからの地域はどうなっていくのだろうかなどと、自分のことは棚に上げて心配になります。集落内に耕作放棄の水田がたくさんできてしまいました。畑地については管理が比較的容易ですが、今年の夏の暑さの中で、除草が間に合わないところもたくさん見かけました。

時代にも、年代にもあっていないなと思いつつ、それでも先達の歩んできた道を何とかたどり、次世代につなぐことに多少の意味はあるだろうと思いつつ日々を過ごしているところです。

# 島根教弘友の会「研修と親睦の旅」(9月29日～10月2日)



「大天后宮」にて

## 研修と親睦の旅 台湾縦断紀行に参加して

友の会出雲地区 三澤 欣子

午前9時30分に広島空港を出発して2時間半。島の端が見えると、緑の田んぼの中にあちこちとため池のある農村の景色、すると、高層ビルや住宅がぎゅっと並んだ様子が目に飛び込んできました。まもなく台湾桃園国際空港に着陸しました。空港では、現地ガイドの黄(こう)さんが出迎えてくださいました。

台湾は、東西が狭く、南北に長い形をしています。桃園駅から、台湾の西側を新幹線で一気に南の高雄市へ移動しました。終点の左營駅からバスでパワースポット『蓮池潭』へ向かいます。夏は蓮の花で美しいようですが、この日は水上スキーを楽しむ人たちが見られました。工事中のため養生ネットにおおわれていた『龍虎塔』の中を歩きました。黄さんの説明では、台湾では必ず龍の口から入って虎側から出ると、幸運が得られるとか。夕食は大きな円卓を囲み、海鮮料理で乾杯しました。どの料理も日本人にも合う味付けで、美味しくいただきました。その後は、大港橋からの夜景や川沿いの屋台を見て歩きました。朝早く出発しましたが、やっとホテルに入り1日目を終えました。

2日目、朝食後にバスで『三鳳宮』という古刹に到着。色鮮やかな屋根や、金箔などで装飾された柱や天井、果物や百合が供えられた神様に手をあわせました。高雄から台南市に移動して、お土産のショッピングタイム。移動中のバスから見ると台湾の道はバイクがいっぱいです。交差点で

何列もバイクが並ぶのは壮観というか、ここで車の運転はこわいなと思いました。台南郷土料理の昼食の後、台湾の小京都といわれる台南観光へ。

『赤崁楼』は、1653年にオランダ人が建設した西洋風の城跡です。長年の間に改築され見た目は台湾風ですが、レンガの壁など面影が残っていました。オランダ、清、日本など様々な国に統治された台湾の歴史を感じました。その後、隣の『大天后宮』、バスで『孔子廟』を訪れました。観光後、台南駅から新幹線で台北へと北へさかのぼります。到着後は、北京料理のお店へGo! 焼いた北京ダックの姿はインパクトあります。「チャーハンやスープはお店ごとに微妙に味が違うね」など話しながら美味しくいただきました。夕食後は、台湾最大の夜市『士林夜市』に行きました。

3日目は台北市内観光です。車窓から総統府や最高裁判所など見て、300年の歴史のある『龍山寺』に到着。観音菩薩などの仏様と、道教の神様も祀る神仏混交の寺で



台湾の道はバイクが主役



北京ダック～スライス前～

装飾の豪華さに加え重厚な建物でした。次に行った『中正紀念堂』は、見上げるほど大きくそびえたっています。台湾産の大理石や檜で作られている蒋介石のメモリアルホールですが、広い庭園と音楽ホールや劇場もあり市民の憩いの場となっています。昼食は大人気レストラン『鼎泰豊』にて小籠包などを満喫しました。その後、台北のランドマーク『101 観景台』の89階から市内を展望しました。この建物は660トンの球でバランスをとっている面白い建築物です。この後、永康街を散策しました。そして、ここからバスで1時間ほどかけて、台湾の北東部の海沿いにある九份という所へ向かいました。ここは金の鉱山だったそうです。山を見ながら階段を上っていくと斜面に石段や石畳の小道、古い家並み、赤いランタンが独特の雰囲気を醸し出しています。『阿妹茶楼』という茶店はジブリの「千と千尋の神隠し」に出てくる湯屋のモデルになった建物で、あたりが暗くなると一段と美しかったです。

最終日は台風の影響で学校や博物館などすべてがお休みになり、『故宮博物院』を見ることができず残念でしたが、『忠烈祠』の門前までは行くことができました。飛行機は予定どおり出発し広島空港へ帰ることができました。



「千と千尋の神隠し」モデル茶店

行く前は不安もありましたが、石王観光の永井さんの細やかな配慮、黄さんの超面白いガイド、ご一緒した参加者の皆様のやわらかな雰囲気、安心して楽しむことができました。



## 国賓待遇での旅 ～台湾～

友の会益田支部 山村 知

退職して2年半あまりが過ぎました。両親も高齢で介護の日々が続く中、30年ぶりの台湾です。台風の影響を多少気にしながら、旅がスタートしました。

1日目は、空港到着と同時に亜熱帯独特の空気に包まれ南国ムード満点です。その後、日本の技術支援により完成した台湾新幹線に乗り込み、高雄屈指のパワースポット《蓮池潭》に到着しました。ここは、龍から入り虎から出る《龍虎塔》が有名です。残念ながら修復工事の為、一部入場できませんでしたが、現地ガイドの黄さんの巧みな話術に引き込まれ、台湾の神様事情を知ることができました。また、道の両側にはココナツの木やマングローブが大きく茂り心地よい木陰を作ってくれていました。そして、待ちに待った中華海鮮料理と台湾ビールの夕食に舌鼓を打ちました。出てくる料理は、どれもこれもおいしく頂きました。

2日目は、300年の歴史を誇る古刹《三鳳宮》や台湾の小京都《大天后宮・孔子廟》などを見学しました。夕食は、北京ダックを初めとする北京料理のオンパレードで満足しました。



龍虎塔

3日目は、《台北101 展望台》で台北の大パノラマを眺望しました。昼食は、行列のできる大人気レストラン《鼎泰豊》にて小籠包のフル



小籠包フルコース

コースに、舌をやけどするくらい熱中しました。その日の夜は、大人気スポット《九份》観光です。海を望む山の斜面に石段や石畳の小道、古い家並みが続き、ノスタルジックな風景が広がっています。思わず千と千尋の世界に迷い込んだような錯覚を覚えました。

そして最終日、歩みの遅かった台風が接近し、台湾の学校や職場がお休みとなり、午前中の観光が中止となり自由時間ができました。外に出てみると、少々風が強かったものの、雨も降っておらず近くの公園を散策したり、台北駅構内でお土産を買ったりとゆったり過ごすことができました。台湾では、台風のとくに学校と職場が同時に休みになることを知って、日本の状況と比べてうらやましくもありました。

あっと言う間の3泊4日の旅を終え、帰国の途に就きました。「皆さんは国賓待遇です」と言いながらピリ辛トークで私たちを笑いの渦に巻き込み、要所所で懇切丁寧な説明をいただいた現地ガイドの黄さん、安心・安全な旅を企画運営して頂き、親切に対応してくださった石王観光の永井さん、旅行中細かい配慮を下さった友の会会長の河原さんを始め役員の方々、共に楽しく旅した友の会の皆様、おかげさまで思い出深い旅となりました。また、いつかまた一緒できることを願っています。

# 正会員資格のご継続をお勧めします

新教弘保険(集団契約特約付勤労保険)の満期は65歳です。満期までぜひご継続ください。また、満期到来時(満65歳)には、新教弘保険K型(集団契約特約付勤労保険)にご加入いただき、正会員資格のご継続をお勧めします。

## 新教弘保険K型ご加入の特典

(集団契約特約付勤労保険)

○ 健康状態の如何にかかわらず、既加入の死亡保健金額の範囲内で加入できます。

○ ご加入後、5年毎の更新で80歳まで保障を継続できます。  
(ただし、払込み保険料は5年毎に更新、満期保険金はありません。)

※手続きの際、新教弘保険K型(集団契約特約付勤労保険)以外は「教弘友の会正会員資格」を失うこととなります。引き続き正会員資格を継続される場合は、必ずご加入される保険が、「教弘友の会正会員を続けられる保険」かどうかをご確認ください。

※満期日は、65歳の誕生日ではありません。契約日によって設定されていますので、保険証券でご確認ください。

※満期を迎えられる方には、事前に共済事業(提携保険事業)提携保険会社ジブラルタ生命保険株式会社からのご案内や担当LC(ライフプラン・コンサルタント)がご連絡をさせていただきます。詳しくは、ジブラルタ生命のLCにお問い合わせの上、必ず「契約概要」「注意喚起情報」「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。

### お問い合わせ先

#### ジブラルタ生命保険(株)

- ジブラルタ生命保険(株) 教職員専用ダイヤル(通話料無料) 0120-37-9419
- 出雲営業所 〒693-0011 出雲市大津町 1127-27 0853-21-2015
- 松江支社 〒690-0007 松江市御手船場町字伊勢宮 553-6 0852-59-5571
- 浜田営業所 〒697-0026 浜田市田町 113-2 0855-22-1703
- 松江第一営業所 〒690-0007 松江市御手船場町字伊勢宮 553-6 0852-59-5571
- 益田営業所 〒698-0026 益田市あけぼの本町 9-4 0856-31-1510
- 松江第二営業所 〒690-0007 松江市御手船場町字伊勢宮 553-6 0852-59-5571

### 公益財団法人日本教育公務員弘済会 団体保険

団体総合生活保険(フルガード) 2024年8月~2025年7月 加入のご案内

## 教弘フルガード

### 日常生活のケガトラブルに。

教職員退職者やご家族の方もお得な団体割引でご加入いただけます。

(団体総合生活保険)  
団体割引・損害率による割引をあわせて

約 **41%** 割引

※天災危険補償部分の保険料は、団体割引のみ適用となります。

### 自動更新 2024年8月1日始期

2024年8月1日午後4時~  
2025年8月1日午後4時(1年間)

#### 中途加入の補償期間

毎月20日締切で、提出締切日の翌月1日午前0時~2025年8月1日午後4時

#### 募集期間

2024年5月31日(金)~2025年6月20日(金)

#### 加入者資格

公益財団法人日本教育公務員弘済会の会員で、以下に該当する方

1. 公立学校の教職員
2. 国立学校および私立学校の教職員
3. 教育委員会の職員
4. 教職員団体の役員及び職員
5. 日教弘および日教弘の本部および各県の職員
6. 1~5.の退職者

※「教職員」とは、学校教育法に規定する学校の校長および教員ならびに部活動指導する教育関係の職員等

会員のご家族の方も教弘フルガードにお得な団体割引適用にてご加入いただけます!

#### 教弘フルガードの被保険者になれるご家族の範囲

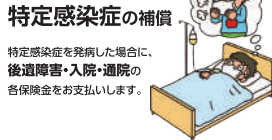
1. ご加入者の配偶者
2. ご加入者の子、親、兄弟
3. ご加入者と「同居している」親族(※)

(※)親族とは加入者の6親等以内の血族または3親等以内の姻族

#### ○ ご自身のケガ [傷害補償]



#### ○ O157などの特定感染症の補償



#### ○ 相手への補償 [個人賠償責任補償]



#### ○ 持ち物の補償 [携行品損害]



#### ○ 費用の補償 [救護費費用等]



示談交渉サービス付帯(国内のみ)  
自転車条例にも対応!

ホームページから資料請求いただいた方へもれなく粗品をプレゼントしています →



公益財団法人 日本教育公務員弘済会  
www.nikkoko.or.jp

このご案内は、「団体総合生活保険(フルガード)」の概要について説明したものです。保険の内容は、パンフレットをご覧ください。詳細は団体が保有する保険約款によりますが、ご不明な点がありましたら、代理店または引受保険会社 東京海上日動火災保険㈱におたずねください。ご加入に際しては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。

2024年2月作成 募集文書番号23T-002625